

お知らせ

この号の内容

- 1 三木明 TRF 管理委員が7月1日に御就任
- 2 RRFC からのお知らせ 日本の財団目標について
- 3 ローター財団の目標
- 4 ポリオの歴史
- 5 第1地域佐々木昌敏 ARRFC からの寄稿
- 6 RRFC の役割と2021～22年度の目標
- 7 ローターアクトクラブの補助金への参加
- 8 向日葵の絵と川端茅舎の句

【7月1日 三木明 2021-25 年 TRF 管理委員が就任されました】



三木明 2021-25 年 TRF 管理委員
姫路ロータリークラブ

「第1地域の皆さま」

本年度より4年間財団管理委員を仰せつかりました三木明でございます。第2680地区、兵庫県の姫路ロータリークラブに所属しております。新しい年度が始まり、皆さまは心新たにスタートラインを切られたことと思います。先年度は新型コロナウイルス感染症に翻弄され、ロータリー活動に大きな支障がありました。その中でもロータリアンの皆さまから財団への力強いご支援を頂きましたこと、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。さて、皆様良くご存知のとおり、ロータリー財団は「世界でよい事をしよう」を合言葉に世界中で人道的奉仕を続けております。「世界のどこかに一人でも不幸な人がいる限り私たちロータリアンは幸せになることができない。心の中に火を灯そう」とニティッシュ・ラハリー元 RI 会長が話された言葉を思い出します。ロータリー財団には、ともすればお金の話が付いて回りますが、ご支援いただいたその向こうには子供たちの明るい笑顔が見え、安心して学べる環境を得ることができる若い人びとがいることを思い浮かべてください。人々の健康と安全を守り、ロータリーの究極の目的である平和を構築するために、皆様からのご支援が必要とされています。どうか財団に関心を持って下さり、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【RRFC からのお知らせ 日本の財団目標について】

2021-22 度 ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)

第一地域 羽部 大仁 habu@honganji.or.jp

第二地域 服部 良男 ceo@hattori.org

第三地域 永田 壮一 sochan0001@me.com

私たちは、分かり易く、使いやすい「みんなのロータリー財団」を目指し、補助金プロジェクトをサポートし、そして補助金への参加と補助金を活用して地域社会に変化を生む活動の推進へのお手伝いをします。

さて、ジョン F. ジャームロータリー財団管理委員長エレクトは、国際協議会の講演で『私にとって「知性ある心」とはロータリー財団ことです。ロータリー財団は、世界でよいことをするために、超我の奉仕をするために、そして未来の世代にとって世界をより良い場所にするために、ロータリアンに数え切れないほどの機会を提供して活動しています』と述べられています。ロータリアンみんなの財団なのですから、その存在価値が問われているのです。会員一人一人が関心を持って「世界で良いことをしよう」として始められた「みんなのロータリー財団」に更なるご支援(ファンドレイジング)と新しい補助金プロジェクトへの挑戦をお願いいたします。RRFC へのお問い合わせご相談をお待ちしております。そして日本のロータリアンが結束して年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成しましょう。昨年度の実績を踏まえて話し合った結果、次年度の日本の目標を次の通りといたします。

EVERY ROTARIAN
EVERY YEAR

■年次基金

- ・1人当たり 150ドル(日本全体で 1,350 万ドル)
- ・年次基金寄付ゼロクラブ0達成を継続する
- ・Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
- ・ポール・ハリス・ソサエティの推進

■ポリオプラス基金

- ・1人当たり 30ドル
- (日本全体で 270 万ドルまた、1,500 ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)

■恒久基金

- ・冠名基金を各地区1件以上設立

■大口寄付

- ・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本全体で 100 件
- ・AKS を日本全体で 10 名増やす



■DDF の活用

- 中期目標として、2~3年で「AKS 0 地区」ゼロを目指す
- ・DDF の 20%をポリオプラスに寄贈
- DDF の 20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1,500ドル 以上の 寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。
- ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈
- 「日本ロータリー平和センター基金(E11659)」の累計が 150\$ に達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名支援できます。
- ・各地区が DDF を使い切る

■補助金

- ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの促進

【ロータリー財団の目標】

第一の優先事項は、勿論ポリオ根絶です。第二の優先事項は、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。そのために、包括的なファンドレイジング目標を4億1,000万ドルに決めました。第三の優先項目は、ロータリーの補助金によってもたらされる測定可能なインパクトを高めることです。

(ジョン・ジャーム TRF 管理委員長:ロータリーの核心より抜粋)



EVERY ROTARIAN
EVERY YEAR

【世界の寄付目標内訳】

世界の寄付目標内訳	
年次基金	1億2,500万ドル
ポリオプラス基金	1億5,000万ドル (ゲイツ財団からの上乗せ含む)
恒久基金	9,500万ドル (2025年までに20億2,500万ドル)
その他の基金	4,000万ドル
合計	4億1,000万ドル

<ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です>

【ポリオの歴史】



研究者によると、1963 年以來、ワクチンによって命が救われた人の数は約 1,000 万人に上ると推定されています。ロータリー会員はワクチンの効果をよく知っています。経口ポリオワクチンのおかげで、1988 年以來、野生型ポリオの発生件数は 99.9%減少しており、現在、野生型ポリオによる発症が報告されているのは世界でわずか 2 カ国のみとなっています。新型コロナワクチンが世界中で配布されつつある現在、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナーが培ってきた経験と知識が新型コロナへの対応に役立っています。

ロータリー会員は、ポリオ根絶活動で行ってきたのと同じ方法で、新型コロナワクチンの導入を支援しています。それらは、各地でのワクチン接種に対する認識向上、保健員への支援、誤った情報やワクチンに対するためらいへの対応、特に支援を必要とするコミュニティにおける公平なワクチン配布の提唱といった活動です。クラブは、地元保健当局や、世界保健機関(WHO)やユニセフなどの機関(該当する場合)と国レベルで協力できます。毎年 4 月の最終週にあたる「世界予防接種週間」は、今年は特に重要な意味をもちます。新型コロナの世界的流行を食い止めるために、世界が予防接種に注目する今、命を救うワクチンの歴史を振り返ってみましょう。



新型コロナウイルスに対応するためにクラブや地区で行っている活動を、[ロータリーショーケース](#)でご紹介ください。国際ロータリーの活動について詳しくは、[Rotary.org](#) をご覧ください。



(このポスターはナイジェリアでの活動を紹介したものです。ロータリーショーケースより転載しております。)

【第1地域佐々木昌敏 ARRFC 寄付ゼロクラブゼロの対応について】



佐々木 昌敏第1地域 ARRFC
第 2560 地区 PDG

最近の人間社会は、コロナというウイルスの前に屈服し、なおかつ克服する方法まで、やれマスク、やれ三密回避、やれ手指の消毒、やれ換気が必要と振り回されざるを得ない状況であります。従ってロータリー活動も、例会・緒行事を中止！中止の連続で、極めて不十分な状況を余儀なくされています。その中で年次基金ゼロクラブゼロを達成する目標は継続されて今日に生きています。クラブ会長さん、財団委員長さん、そして地区財団委員長さん委員の皆様におかれましては、お願い申し上げにくい寄付推進（ファンドレイジング）にご尽力を戴きましたことに心より敬意と感謝でございます。

本当に有難うございました。

- ① 財団月間では、地区財団委員の皆さんには、各クラブへ出掛け、財団と寄付の関係についての卓話や質問に対応され、クラブと地区の関係強化に取り組んでおられることに御礼申し上げます。
- ② 財団セミナーでは、寄付額の間接実績を公表しながら、寄付額と地区補助金が3年後に地区に戻ってくる仕組みや、そして年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標について地区財団委員会を悩ませ続けている事に御礼申し上げます。
- ③ ロータリー年度末にあたる6月には、未だ年次基金ゼロクラブへファンドレイジングの働きかけ、送金日、送金方法まで注意深くお手伝い、ご案内しながら目出度く年次基金寄付ゼロクラブゼロが連続して達成されることに深い喜びと感謝を申し上げます。

ロータリー財団のファンドレイジングは、他の様々な組織の実情と同じように、一朝一夕に作り上げることはできないものです。我々ロータリー財団には、このファンドレイジングの先に、世界平和の推進、ポリオ根絶という使命があります。これからもこの使命に向かって元気に例会に出席したいものと思っております。今年も宜しくお願い申し上げます。

(第1地域 ARRFC 佐々木昌敏記)

【RRFC の役割と2021～22年度の目標について】

RRFC は、ロータリー財団の補助金と資金管理、およびポリオプラス、ロータリー平和センターを含む財団プログラムのためのファンドレイジング（資金推進）を支援します。

- 1) ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶を達成するため、ポリオプラスへの支援をロータリーに促す。
 - 2) ロータリー財団への寄付（特に年次基金への寄付）に関してクラブと地区に支援を提供する。
 - 3) ロータリー補助金についてクラブや地区に情報を提供する。
- 以上がロータリー財団地域コーディネーターの役割と責務となっています。

2021-22 年度第1地域 RRFC の目標設定です

1.ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力し、地区財団活動資金(DDF)の使用を奨励しながら、ポリオに寄付するクラブの数を__%(少なくとも10%)増やす。

ポリオプラスへの寄付の増加に関するターゲットをご入力ください: 10

「私は RRFC に就任以来、常に財団チームとしての活動を心掛けています。2021-22 年度は最終年度になりますので、特に担当各地区に積み上げられ DDF を計画的に又効果的に活用出来るように早い段階から推奨していきたいと考えています。数値目標は 10%ですが、達成に向けて各地区のガバナー・財団委員長・ガバナーエレクトに働きかけて行きます。」

2.地区リーダーと協力し、担当地域における年次基金への寄付総額を__%(少なくとも3%)増加させる。

年次基金への寄付の増加に関するターゲットをご入力ください。: 5

「年次寄付への取り組みは RRFC としての大切な目的です。コロナ禍で厳しいクラブ運営を強いられている現状を各地区各クラブがアイデアを出し合って今を支える年次基金は大切な補助金の原資になるものであることを強く各地区へ第1地域 RRFC 便りなどを活用して要請して行く戦略を立てています。」

3.地区リーダーと協力して、より多くのクラブがグローバル補助金の提唱や寄付を通じて補助金に参加できるようにするための戦略を__つ(少なくとも3つ)立案する。

より多くのクラブが補助金に参加するために立案する戦略のターゲット数をご入力ください: 3

「グローバル補助金事業について、就任以来各地区・各クラブにその取り組みについて立案ガイドも示しながら推奨しています。次年度も各地区ガバナー、地区財団委員長、地区ガバナー・エレクトに毎月「第1地域 RRFC 便り」を送信して、グローバル補助金が効果的に、継続的に、目的が達成されるために最大の努力を傾注していきたいと考えています。」

4.ポリオ根絶活動、補助金、ロータリー平和センター、重点分野といった財団活動を__つ

(少なくとも8つ)広く紹介することで、ロータリーのインパクトに対する認知を高める。

広く紹介する財団活動の数をご入力ください: 8

「来たる6月27日、28日の両日日本の3地域が「クラブ活性化セミナー」を開催します。我々財団チームはこのセッションで RPIC(公共イメージコーディネーター)と協力してセッションを企画しています。RPIC の協力も得て財団活動の取り組みについて広くイメージ向上に繋がれば良いと考えています。」

5.各地区の地区リーダーと協力して、地区財団活動資金(DDF)の使用を__%(少なくとも5%)増やす。DDF 使用の増加に関するターゲット数(すべての地区を含む平均値)をご入力ください:5

「財団の資金モデルが変更されたことを良い機会に捉えて各地区が未使用の DDF を様々なプログラムに活用されることを伝える考え方は、そのための資料・リソースを紹介して参ります。」

6.補足資料(目標のための戦略テンプレートなど)をアップロードする場合は、以下でアップロードしてください: 未使用.

7.質問、リソースの要請、サポート、コメントがあればご記入ください。

「私は就任以来、毎月末には RRFC 便りでご迷惑をお掛けしております。これによってロータリー財団の仕組みや補助金に関する理解を深めることができると思います。最終年度になりますが、**「みんなのロータリー財団」**の理解が各地区・各クラブに浸透するように努力する覚悟です。」

(以上が第1地域の RRFC としての年度目標設定です。ご理解ご協力をお願いします。)

【ローターアクトクラブの補助金への参加】

2022年7月より、ローターアクトクラブは、地元や海外での奉仕活動を支援するために、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を申請することができます。地区は、ローターアクトクラブの補助金活動への参加の記録を整理し、補助金管理セミナーやその他の財団関連の研修にローターアクターが参加して、申請するための資格が得られるように備えます。また、ローターアクターの参加を促すため、地区内の寄付の推進やDDFの配分方法について変更するかどうかも検討します。5月の「寄付推進&補助金 ニュース」もご参照ください。

➤ 参加資格認定 ローターアクトクラブがグローバル補助金の協同提唱者となる資格を得るには、地区から参加資格認定の承認を受ける必要があります。必要とされる主な要件は以下となります。追加条件および地区補助金の参加に対して参加資格認定を求めるかは、地区の裁量となります。

- 補助金管理セミナーへの出席
- 覚書(MOU)の提出(書類はまだ準備中です)



➤ グローバル補助金の申請

- ● グローバル補助金を利用したプロジェクトでロータリークラブまたは地区と協力した経験があること

(ローターアクトクラブの補助金プロジェクトへの参加を記録するのは地区の責務です。)

- ● 地区から参加資格認定を得ていること
- ● 提唱者の一方は、ロータリークラブまたは地区であること(ローターアクトクラブ同士での申請はできません)
- ● 2022年7月1日から申請書を作成開始できる
- ● 提唱者の代表者の承認は、手続き時のローターアクトクラブの会長が行う
- ● 補助金を受領する場合は、ローターアクトクラブの補助金専用口座が必要となる
- ● ローターアクターが、奨学金または職業研修チームのメンバーとして研修を受けることは可能だが、所属する

ローターアクトクラブがそのプロジェクトの提唱者になることはできない

➤ その他の補助金

- ● 地区補助金

地区は、2022年1月から、地区補助金の申請書の使用計画で、ローターアクトクラブを提唱者として選択し、補助金を配分することができるようになります。地区補助金の場合も、ローターアクトクラブが補助金を受領する場合は、ローターアクトクラブの補助金専用口座が必要です。

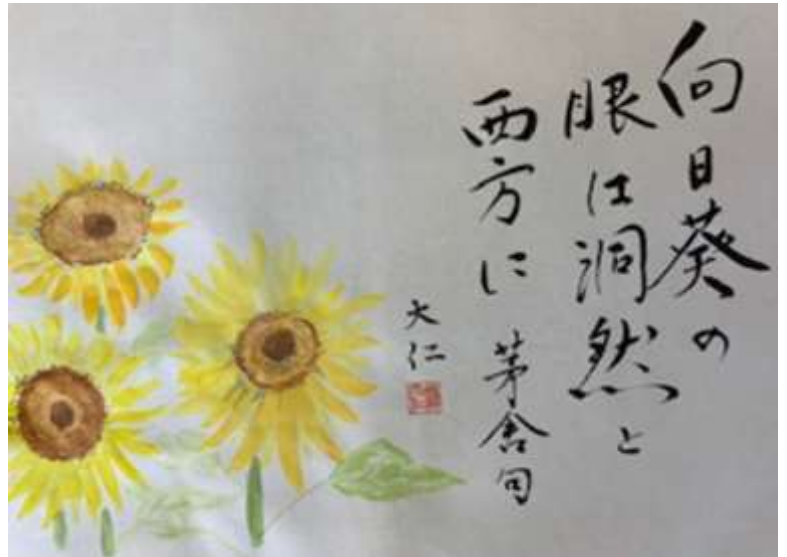
- ● ローターアクトクラブは、ロータリー災害救援補助金及び大規模プログラム補助金を申請することはできません。

(この記載は財団 NEWS6月号から抜粋して掲載しています)

【向日葵の絵と川端茅舎の句】

川端茅舎の句を紹介します。以前に紹介した虚子の弟子です。ホトギスにも参加して川端茅舎句集を創刊する折に、師匠の虚子から送られた『茅舎句集』創刊の辞を大変喜んでいました。(※別記す)

『向日葵の 眼は同然と 西方に』の句は茅舎が京都東福寺の正覚庵に籠もって、絵や句の制作に勤しんだ頃、仏道にも深く傾倒したことが窺えます。その後高浜虚子の愛弟子となり、1934年ホトギスの同人となりますが、しかし、肺炎の悪化で43歳の生涯を大田区池上の自宅で終えたのでした。



(川端茅舎は虚子の弟子)

さてこの句を窺って観ると、向日葵は一日中太陽を探してその中心にある目玉のような部分がよく見ると目玉のように見えてきます。

太陽が東の空から昇り、西の空に沈むまでこの目玉で太陽を追い求めるのです。向日葵には多くの呼び名がある。一番印象的なのは日輪草です。太陽の光をぐるぐると回って過ごす様子を表現しているように思います。仏教では法輪とか光輪と呼んでいます。浄土真宗の親鸞様は浄土和讃の始まりに「弥陀成仏のこのかたは いまに十劫をへたまへり 法身の光輪きはもなく 世の盲冥をてらすなり」この光輪は光の仏様を表す言葉で、智慧の光明と名付けています。仏教は慈悲と智慧です。慈悲は慈しむ心を現し、智慧は暗闇を照らす光を表現しています。少し手前味噌な話になりました。坊舎の日輪草は、まさに我々衆生を導き西方の浄土を勧めているのでしょうか。未だ決めかねていますが向日葵は西に向かって咲いています。

眼は同然(とうぜん)とは、何かうつろな状況をさしていると思われれます。はっきりと決めていない心の模様のようにも感じます。

最後に高浜虚子が送った発刊の言葉を紹介します。※『茅舎句集が出るといふ話をきいた時分に、私は非常に嬉しく思った。親しい俳友の句集が出るといふ事は誰の句集であっても喜ばしいことに思へるのであるけれども、わけでも茅舎句集の出るといふことを聞いた時は最も喜びを感じたのである。それはどうしてであるかといふ事は自分でもはっきり判らない。

茅舎君は嘗ても言ったように、常にその病苦と闘って居ながら少しもその病苦を人に訴へない人である。生きんが為の一念の力は、天柱地軸と共に、よく天を支へ地を支へ茅舎君の生命をも支へ得る、測り知れぬ大きな力である。

茅舎君は真勇の人であると思う。自分の信ずるところによって急がず騒がず行動している。

茅舎君は雲や露や石などに生命を見出すばかりでなく、鳶や蝸牛などにも人性を見出す人である。

露の句を巻頭にして爰に収録されている句は悉く飛び散る露の真玉の相触れて鳴るような句許りである。

(羽部記)